

安住寺だより



禅の心

第172号

発行 安住寺 (年4回発行)

臨濟宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 Tel.0978-62-2680

URL <http://www.anjuji.net>

編集 矢野明玄 2.3頁

矢野玄徳 1.4頁

印刷 安住寺コピー室



南禅寺・田中寛洲新管長に相見

八月下旬、南禅寺にて独秀流御詠歌の会合がありました。詠鑑他の和尚方と山内光雲寺に田中寛洲管長をお訪ねし、就任のお祝いを申し上げます。その折、玄関前で撮影した一枚です。

今年、この正月、このような年になると、誰が予測したでしょうか。新型コロナウイルスという未知のウイルスによつて、世界中が恐れ、感染拡大防止、感染者の治療に苦慮しています。日本は、今のところ欧米やインド、ブラジルのような爆発的な感染拡大を防いでいます。感染を抑えるワクチンの開発は、まだ完成していません。インフルエンザの流行期を控え、心配が更に増えています。
そのような中、色々な行事や会合等が中止せざるを得ませんでした。外出を控え、濃厚接触をしないように行動し、新しい生活様式を皆で工夫をしています。
そのお蔭か、欧米や他の感染国のような感染爆発は起きていないのは幸いです。しかし、その一方で、人の出入りが無くなり商売が

コロナ禍における 仏事のあり方は？

経済が立ちいかなくなり「休業補償」をしなくてはならなくなりました。国民全員には「特別定額給付金」が支給されました。その後も次々と後追いで色々な手立てがなされている状況です。

このコロナ禍で寺の行事や仏事にも影響が出ています。実施するにしても感染防止の対応をしなければなりません。葬儀にも影響が有るようです。本来ならば大勢の見送りを受けて営まれるところ、親戚も来れないので、家族だけの葬儀が多いと聞きます。

更に悲しいのは、入院中もお見舞に行けなかつたので、最後に言葉を交わすことが出来なかつたと言う空しさを述べる方もいました。年忌法要では、遠方のご親戚は双方から遠慮され、家族のみで執り行う家が多いようです。昨今は、仏事の時ぐらいいしか兄弟やご親戚に会えませんが、この度はそれも無理な状況です。仏事は、亡き人を偲び、御先祖を敬うと同時に、縁ある人達が集い、食事を共にし語らうところに大切な意味があります。それが出来ないのは何とも

悲しい限りです。

災害が多発する今日、常日頃から隣近所や親戚などの絆を大事にすることが求められています。このようなコロナ禍の日常が定着し地域や親戚などが疎遠になってしまうのが心配です。人間は、どこまでも支え合つて生きていくものなのですから。



彼岸法要の様子です。お中日に開催しました。少人数でしたが熱心にお話を聞いていただきました。今回は、六波羅蜜の「禪定」についてのお話でした。小二の小僧も大きな声で読経しました。

行事予定

写経会	坐禅会	11月27日	10月24日	10月21日	10月17日	10月10日
11/20	11/14	日	日	日	日	日
12/18納会	11/28	合掌会奉仕作業	早朝坐禅会	写経会	観音講	早朝坐禅会
	12/12納会					

都合により、変更することがあります

初祖菩提達磨大師

十月五日は達磨忌です。仏心宗あるいは達磨宗ともいわれる日本の禅宗には、臨済宗・曹洞宗・黄檗宗があります。

臨済宗の寺院では「二祖三仏忌（にそさんぶつき）」といって、お釈迦様が誕生した四月八日の灌仏会（かんぶつえ）、お釈迦様が悟りを開かれた十二月八日の成道会（じようどうえ）、お釈迦様がなくなられた二月十五日の涅槃会（ねはんえ）が三仏忌。各寺院の開山様の命日の開山忌。そして達磨大師がお亡くなりになったとされる十月五日の達磨忌の五つの法要を大切にお参りいたします。

今回は、その法要の一つ達磨忌にちなんで、達磨大師について取り上げます。

お釈迦様から数えて二十八代目の祖師である。達磨大師以前にも禅の教えはありましたが、明確に他の諸宗と分けられ禅宗として成立したのは、達磨大師以降になるので初祖として仰いでいます。

達磨大師は、南天竺（インド南部）の香至国の第三皇子で、菩提多羅というのが本名。生年ははっきりしないが、およそ千五百年前とされる。いくつの頃か定かでないが、中国の

梁時代、普通元年（五二〇）に印度から中国にやってきた。一説では、広東省広州に上陸。あるいは大理国（雲南省）を経て来たともされる。そこで、広州の刑吏が目撃して、印度から変わった沙門がやってきたと梁国の武帝に報告した。

武帝は大変熱心な仏教信者だった。ある時武帝は、都がある金陵（現在の南京）の宮中に達磨大師を招き、問答をします。

武帝：「貴僧はどんな教法をもって、衆生を済度されるのか」

達磨：「一字の教えも持ってきていません」

武帝：「朕は、即位以来、寺を建て人を救い、写経をし、仏像も作ったが、いかなる功德があるだろうか」

達磨：「無功德」

達磨大師はさらに、

達磨：「それらのことは、みな形に現れた有為の善行ではあり、真の功德とは言えぬ」

武帝：「では、真の功德とは一体如何なるものか」

難しく言うのと、如何なるかは聖諦第一義である。つまり、仏法のギリギリのところ、真に尊いところのものはどんなものなのか、と武帝は問うたのだ。

達磨：「廓然無聖（かくねんむしよう）」

廓然とは、からりとして何も無いことで、無聖とは、聖なんてものは無いことである。からりとして聖も賤もないところ、という意味である。仏法を手厚く保護し信仰してきた武帝は声をあらげて、

武帝：「朕に対する者は誰だ」

と聞いた。達磨大師は、

達磨：「不識」

知らぬ。と答えただけであった。

結局、御利益、功德を求め仏法を保護した武帝と、只ひたすら正しい仏教を広め伝えようとする達磨大師との問答で、二人の心はかみ合うことはありませんでした。



白隠禅師筆「達磨図」

この後、達磨大師は魏の国の嵩山少林寺に行き、只ひたすらに面壁九年の坐禅修行に打ち込まれました。

さて、達磨大師が唱えたとされる禅の根本思想が「不立文字」「教外別伝」「直指人心」「見性成仏」の四聖句（しせいこく）である。

【不立文字（ふりゆうもんじ）】文字を立てないとは、経典などの

文字や言葉には限界があり、それだけでは十分に表現出来ないものがあること。悟りの境地は、文字では表し得ない純粹経験によつて得られるものである。

妙心寺の管長も務められた、山本玄峰老師は「言葉を聞き、読んで考えるのではない。本来の意味を先につかんでから言葉を味わえ」と言われた。

【教外別伝（ききょうべつでん）】他の仏教宗派は全て経典などの教学を持っているが、禅宗はよつて立つ経典を持たず、師弟間の心から心へと直接法を伝えることに重きを置きました。頭脳で考えるのではなく全身で考えることが最も大切であるとしている。

南禅寺管長であった柴山全慶老師は「不立文字・教外別伝とは、あらゆる概念的主張や教訓に繫縛（けばく）せられないということだ」と説かれた。

【直指人心（じきしにんしん）】直ちに人の心を指すとは、いたずらに外にばかり眼を注がずに自己の心をよく見つめて、直につかむがよいということ。次の見性成仏とセットで用いられる場合が多い。

【見性成仏（けんしょうじようぶつ）】四聖句の中で最も重要な句で、自らが備えている仏性に目覚めれば、

仏になるという意味であるが、仏とは本来の自己に立ち返るといふことと。

夢窓国師は『夢中間答』の中で、「直指人心、見性成仏」の意味するところを次のように例えている。すなわち、「酒に酔って本心を失っている酔狂の状態から、酔いがにわかには醒めて、本心に戻ったようなもの」と。

坐禅を通して、直指人心、見性成仏することは、達磨大師が武帝に答えた廓然無聖の境地を得ることであり、達磨大師は功徳を求め武帝に「不識」と答えたのは、見性成仏こそ最も大切なことであると分かったことかと思えます。

時折お寺で坐禅会を申し込む方に「坐禅をすると何か良いことはありませんか」と質問されることがあります。同様に、坐禅や厳しい修行をするのは何かの力を得たい為、また功徳を求める為だと思おう方があるでしょう。しかし決してそうではありません。目的を求めることなく、只ひたすらに坐禅をし、ひたすらに修行を続けることこそが大切なのだと言ふことです。それが禅です。

《参考文献》・『禅の本』学習研究社2003
・水上勉『禅とは何か・それは達磨から始まった』

新潮選書2003

彼岸を終えて

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、コロナや自然災害もありながら、彼岸を迎えてみれば、夏場の猛暑を忘れる過しやすい日が訪れました。

大分県内では、コロナ感染者の増加は小康状態で、身近での感染者もなく安堵しておりますが、経済的な影響を受けている話は彼方こちらで耳にします。

写真は八月三日の施食会の様子です。法要だけのお勤めでしたが、四十名ほどの方がお参りされました。社会全体の流れと同じく、お寺の行事や会合もほとんど中止や縮小。人との縁も少なくなりさみしくなりました。



コロナ対策と経済再生の両輪が進められています。寒くなるにつれてインフルエンザも心配です。顔の三分の二がマスクに覆われお話しする日を卒業して、和顔施(無財の七施の一つ)の明るい笑顔やほほえみを与え合う日が来ますように。

秘仏観音御開帳事業「報告」

境内環境整備

九月二十六日より、かねてよりお知らせしておりました、境内墓地西側の側溝整備ならびに駐車場・メンテナンス道の工事に取り掛かりました。杵築建設の施工で、期間は十一月末までを予定しております。



写真奥が墓地ならびに位牌堂・観音堂の屋根です。

現在は、表土を削り平に均してあります。その後、墓地境界の石積、側溝整備。最後に駐車場の整地と進める予定です。

工事の費用は、工事対象地に墓地があった方の移設費用を含み、五百万円余り掛かる予定です。お墓参りの際などに何かとご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、ご了承下さい。

◀日々是好日▶

★八月三日、山門施食会・コロナ渦中の為法要のみのお勤め。★八月七日、杵築市無縁供養★八月七日〜十五日、棚経参り。今年も長男と次男三男の双子もお参り致しました。来年は次男三男も小三年になります。一人で棚経参りが出来ればと思っております。★前回の寺報お盆号では、護持会費と境内墓地の管理料をお願い致しました。色々とお費が嵩む折に、ご協力いただき心よりお礼申し上げます。市外、県外の方もお振込み頂き感謝申し上げます。★八月は月例行事をお休みしていましたが、九月より再開しております。坐禅会・写経会等、ご参加お待ちしております。★九月十九日、合掌会役員会。敬老会中止によるお祝い品配布。バス旅行中止確認。奉仕作業につきましてはお寺の都合で、十一月二十七日(金)を予定しております。★九月二十三日、八月末の台風八号の落雷により故障しておりました火災報知機を取り替え。火災保険が適用されました。★十月四日、貴布祢神社大祭★市外、県外の檀家の方には寺報を郵送しておりますが、時折宛先不明で戻ってきます。転居される方がありましたら、お寺の方にもご連絡お願い致します。

合掌



右は台風10号で散った境内の落ち葉。左は杵築大橋のためとに打ち寄せられた大量のゴミ。



増加する自然災害

地球の温暖化が原因か

今年も台風などによる風水害で大きな被害が発生しました。五十年に一度と言う災害が、毎年のように発生している。多くの人が流されたり、家や農地を失いました。温暖化による地球規模の大変化が起きていると、あちこちから警鐘が鳴らされています。

先日、環境省の報告で「一次産業に重大な影響が出る」と新聞で報道されていた。コメが減収し、漁場変化による影響が深刻というのです。

既に、別府湾でも沖縄などの海に生息する魚が水揚げされているし、外洋ではマグロやサンマが獲れなくなっているのも温暖化の影響らしい。コメ以外の農作物にも、気温上昇による品質低下や収量減が見込まれるし、家畜にも影響が懸念されている。

日本近海の海水温上昇が台風の原因、強大化につながり豪雨災害が発生する。一方、積雪量の減少は渇水を招き、漁業にも影響する。多発する災害に復旧と保全に多額の費用を要することになる。温暖化の影響は限りなく拡大する。

台風や豪雨の後、海には大量のゴミが流れてきます。根の付いた大木からペットボトル漁に使うような発泡スチロールなど。それらは、小さなマイクロプラスチックとなり、地球上の生物に悪影響が及ぶことになる。

令和2年9月17日を基準日にした番付表です (敬称略)

令和2年度 長寿番付表 安住寺敬老場所

東			西		
年齢	おすまい	御免蒙	年齢	おすまい	御免蒙
102		横綱	100		阿部
100		大関	99		古川
99		同	98		工藤
98		関脇	97		阿部
97		同	96		藤原
96		同	96		麻生
96		小结	95		田中
95		同	95		土屋
95		同	95		江川
95		前頭 1	94		小川
94		同 2	94		清原
94		同 3	94		荒井
93		同 4	93		原田
93		同 5	93		麻生
93		同 6	92		川口
92		同 7	92		宗田
92		同 8	92		諸井
92		同 9	92		諸井
92		同 10	91		河野
91		同 11	91		加藤
91		同 12	91		秦野
91		十両 1	91		上野
91		同 2	90		藤原
90		同 3	90		藤原
90		同 4	90		木下
90		同 5	90		下野
90		同 6	90		大野
90		同 7	90		阿部
90		同 8	90		是川

祝長寿



今年、日本国内で100歳以上の高齢者が8万人を超したと報道されていきました。安住寺も3名の方がおられます。先日、後ひと月で百歳になられる河野サワさんがお亡くなりになりました。杵築市社会福祉協議会の「長寿番付」によると百歳以上の方が46名です。5年前の倍になりました。95歳でもまだ幕下です。安住寺の番付を作りましたが、紙面の都合でこの人数です。他に渡邊健治さん、安部草平さん、矢野エミさんが90歳です。近い内に、90歳でも番付に載らない人が出てきそうです。